

地方独立行政法人府中市病院機構
平成25年度業務実績に関する評価

平成26年8月

地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会

はじめに

本評価委員会は、「地方独立行政法人府中市病院機構の業務実績に関する評価の基準」に基づき、地方独立行政法人府中市病院機構（以下「病院機構」という。）の平成25年度業務実績に関する評価を行った。

評価については、年度計画に定められた事項ごとに行う「項目別評価」と、業務実績全体の進捗状況について行う「全体評価」を行った。項目別評価では、病院機構の自己評価を参考に評価委員相互で意見交換を行い、自己評価の妥当性や年度計画の進捗状況について、小項目評価及び大項目評価をまとめた。

また、全体評価では、項目別評価の結果のみならず、高齢化が進展する地域住民の社会生活を「支える医療」の具体的取り組みをはじめ、年度計画の達成状況及び平成25年度決算の状況等にも注目して、総合的な評価を行った。

この評価を踏まえ、病院機構におかれては、健全な病院運営に必要な強靱な経営基盤の構築に努め、地域に必要な医療の提供を図られたい。

第1 全体評価

地方独立行政法人府中市病院機構（以下、「病院機構」という。）の平成25年度の業務実績については、項目別評価を踏まえると、総論としては、概ね年度計画どおりに推進されていると評価する。

まず、高齢化が進展する地域住民の社会生活を「支える医療」の提供については、地区医師会と連携した在宅医療の推進や地域医療連携室の充実、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の開設準備など、具体的な取り組みが意欲的に進められている。

また、医師をはじめとした医療従事者が不足している中でも府中市民・府中北市民両病院は適切に役割を分担し、近隣の医療機関とも連携しながら、救急医療をはじめ、地域に必要な診療機能の維持に努めておられる。この他にも、健診受診の積極的な受け入れ、地域のイベントへの積極的な参加などといった病院機構の努力により、収益面の目標は概ね達成されたことは評価すべきである。

もちろん、全てが順調であったわけではない。昨年度の評価において、本評価委員会としては、「市からの繰入に過度に頼らない強靱な経営基盤の構築、特に府中北市民病院の財務内容の抜本的改善」が課題であることを指摘していたところであるが、病院機構の平成25年度決算は1億円余りの赤字となってしまった。主な要因として、病院機構の自己評価では、予想外の施設・設備の修繕が生じたことや人員確保等により、当初予算よりも多額の費用が必要になったことが挙げられている。

しかし、給与費比率をはじめとした財務内容の評価指標の達成状況から推察するに、病院機構の財務基盤は未だ強靱とは言えず、その改善には更なる取り組みが必要である。病院機構におかれては、平成25年度に「府中北市民病院新改革プラン」の策定をはじめ、各病院の経営改善を進めておられるものの、その取り組みには不十分なところもあり、物足りなさも残った。このため、本評価委員会としては、まずは新改革プラン等が確実に実践され、地域医療の再生に大きな成果を上げることができるよう、強く期待するものである。

中期計画の第2事業年度である平成25年度は、市と病院機構が掲げる「支える医療」に係る事業が具体的に進み、加速を感じさせる1年であった。このうえ、飛躍のときを迎えるためには、両病院の経営を安定させ、事業の継続性及び確実性を確保することが肝要である。病院機構におかれては、医療従事者が勤務することに魅力と誇りを感じる病院づくりを進め、「支える医療」の更なる実践に努められたい。

第2 項目別評価

1 大項目評価（集計結果は別紙を参照）

平成25年度年度計画の大項目の評価結果は、S評価からD評価までの5段階で、次のとおりである。

- (1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置
平均2.8点 **A評価**
- (2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置
平均2.5点 **B評価**
- (3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置
平均2.0点 **C評価**
- (4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置
平均3.0点 **A評価**
- (5) 予算、収支計画及び資金計画
※ 本項目は、財務諸表の確認のみ
- (6) 短期借入金の限度額
※ 短期借入はないので、評価なし
- (7) 剰余金の使途
平均3.0点 **A評価**

《参考》

S評価…進捗状況は優れて順調	C評価…やや遅れている
A評価…順調に進んでいる	D評価…遅れている
B評価…概ね計画どおり	

2 小項目評価

別冊「平成25年度の業務実績に関する評価結果【小項目評価】」を参照

【大項目評価に係る小項目評価の集計結果】

大 項 目							大項目評価 (平均点)
中 項 目	小項目数	評価5 (5点)	評価4 (4点)	評価3 (3点)	評価2 (2点)	評価1 (1点)	
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置							A評価 (2.8点)
(1) 提供する医療の内容	4		1	3			
(2) 診療機能の確保	2			1	1		
(3) 地域医療連携の推進	1			1			
(4) 医師及び医療従事者の確保	2			1	1		
(5) 地域住民とともに守る病院づくり	3			2	1		
小 計	12項目		4点	24点	6点		34点
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置							B評価 (2.5点)
(1) 組織・機構の整備	1				1		
(2) 職員教育体制の充実	1			1			
(3) 事務職員の育成	1			1			
(4) 働きやすい職場環境の整備	1				1		
小 計	4項目			6点	4点		10点
3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置							C評価 (2.0点)
(1) 経営基盤の強化	1				1		
(2) 収益の確保及び費用の節減	1				1		
小 計	2項目				4点		4点
4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置							A評価 (3.0点)
(1) 病院の建て替えへの対応	1			1			
(2) 医療機器などの更新	1			1			
小 計	2項目			6点			6点
5 予算、収支計画及び資金計画							—
※ 財務諸表の確認							
6 短期借入金の限度額							—
—	1						
小 計	1項目						—
7 剰余金の使途							A評価 (3.0点)
—	1			1			
小 計	1項目			3点			3点

地方独立行政法人府中市病院機構
平成25年度の業務実績に関する評価結果
【小項目評価】

平成26年8月

地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会

府中市病院機構の概要

1 現況

(1) 法人名

地方独立行政法人府中市病院機構

(2) 法人の所在地

広島県府中市鶴飼町 555 番地 3

(3) 法人役員

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

役職	名 前	備 考
理事長	多田 敦彦	府中市民病院 院長
理事	横矢 仁	府中北市民病院 院長
理事	北村 智樹	府中市民病院 副院長
理事	近森 正和	府中市民病院 副院長
理事	長谷川 和子	府中市民病院総 看護師長
理事	寺岡 謙	社会医療法人社団陽正会事業本部長
監事	浅田 勝彦	公認会計士・税理士
監事	岸田 光弘	弁護士

(4) 設置・運営する病院

別表のとおり

(5) 職員数

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

内 訳	常勤職員	臨時職員	合計
府中市民病院	169	50	219
府中北市民病院	74	42	116
法人合計	243	92	335

※職員数は非常勤医師数を除く

2 府中市病院機構の基本的な目標

法人は、府中市の地域医療を守り育てる基本条例の理念である、市民の健康と生命を守るかけがえのない地域医療を、将来にわたって持続的に確保することを基本に置き、府中市地域医療再生計画の具体化にむけて、その推進役を果たします。

法人が目指す医療は、市民が安心して暮らすための健康を維持し、市民の生活の質を高めるための「支える医療」です。そのため、保健・医療・福祉の連携ネットワークづくりや、医療と介護の日常的な連携体制の構築を図ります。

(別表)

病 院 名	府中市民病院	府中北市民病院
主な役割・機能	<u>二次救急輪番制病院</u> ・日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設・日本呼吸器学会関連施設・日本透析医学会教育関連施設 ・日本アレルギー学会準教育施設 <u>訪問看護ステーションあゆみ</u>	<u>救急告示病院</u> ・広島大学病院協力型臨床研修病院・日本消化器病学会関連施設・日本整形外科学会専門医研修施設
所 在 地	府中市鶴飼町 555 番地 3	府中市上下町上下 2101 番地
設 立	平成 24 年 4 月 1 日	平成 24 年 4 月 1 日
病 床 数	150 床 (一般 100 床・療養 50 床)	70 床 (一般 35 床・療養 35 床)
診 療 科 目	内科・外科・整形外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・小児科・泌尿器科・眼科・精神科	内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・リハビリテーション科

全体的な状況

1 法人としての総括と課題

中期目標の2年目となる今年度は、2病院の医療機能を維持することが出来ましたが、府中市の繰り入れに依存する法人の財務状況を改善することはできず、大幅な赤字決算となりました。

府中北市民病院では前年度末に内科常勤医師が退職し、後任の常勤医師の招聘が困難な状況にありましたが、広島大学病院、三次中央病院、庄原赤十字病院から医師派遣の支援を得ることで、診療体制を維持することができました。府中北市民病院の将来像については、法人内部で新改革プランの作成に取り組みましたが、具体的な実施には至りませんでした。

収支目標については、法人全体では経常収支比率（経常収益/経常費用）97.1%と赤字決算となりました。収益面の目標に対する達成率では、府中市民病院が外来105.1%、入院104.1%、府中北市民病院が外来96.7%、入院103.4%と、ほぼ目標を達成しました。しかし、費用面では府中市からの繰り入れを除くと、法人全体では給与費比率（給与費/医業収益）は73.1%（前年度比▲0.4%）、医業収益比率は84.6%（前年度比▲2.2%）、経費比率（経費/医業収益）は21.5%（前年度比2.3%増）で、特に府中市民病院の老朽施設・医療機器の修繕や、JA広島厚生連出向職員から法人職員へ移行するための人員確保の要する費用が増加しました。

職員体制については、府中市民病院は法人職員・JA広島厚生連出向職員・府中市派遣職員で、府中北市民病院は府中市職員から法人への移行職員と派遣職員で病院事業を継続しています。法人スタート時のJA広島厚生連出向職員数は93人（H24.4.1）でしたが、平成25年度は28人（H25.4.1）となり、平成26年度は11人（H26.4.1）になりました。平成26年度は、JA広島厚生連からの人材支援期間の最終年度であり、引き続き、法人の職員体制の確立を図る必要があります。

2 大項目ごとの特記事項

(1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

診療機能については、府中北市民病院において、府中市民病院の院長による呼吸器専門外来を、また、府中市民病院には、府中北市民病院から内科の常勤医師が診療応援に来るなど、医師の連携を継続しています。

府中市民病院は、二次救急輪番制病院として外科の緊急手術に対応する職員体制を、府中北市民病院は、救急告示病院としての職員体制を継続しています。

府中市民病院では、放射線科医師の負担軽減のため、岡山県実施の遠隔画像診断ネットワーク事業に参加し、岡山大学病院放射線科との遠隔画像診断システムを導入しました。（H25.4.1～）

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

毎月の幹部会議において、病院の収支状況を共有することで、職員の経営参加意識と、自主的な経営改善を促す組織風土の醸成に努めています。

府中市民病院では、年間を通して各職場における改善の取組みを発表する「元気が出るKAIZEN発表会」を、今年度も開催しました。

(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

今年度は、府中市から経営安定化ため4億4,000万円の繰入金がありましたが、赤字決算となったため、中期目標の達成にむけて法人独自の経営改革が必要です。

府中北市民病院における新改革プランの具体的な実施や、府中市民病院における新病院建築に合わせた病院改革の取組が必要です。

(4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

今年度、府中市民病院の建て替えにかかる設計業務は完了し、平成26年度からは建築工事に着手します。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(1) 高齢化に対応した医療

中期目標	高齢者の病気の重症化を防ぎ、在宅における生活の質を高める医療を提供し、さらに終末期における在宅医療にも取り組むこと。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
<p>地域の実情に即し、地域住民の高齢化に対応した在宅医療を適切に取り入れ、高齢者に多い慢性期の患者に寄り添い、地域住民の社会生活を「支える医療」に重心を置いた医療を提供します。</p>	<p>・地域住民の高齢化に対応した在宅医療に取り組みます。</p> <p>今年度は、府中地域に先駆けて、上下地域における在宅医療を具体的に推進するため、府中北市民病院の病院としての機能改革に着手します。</p> <p>・地域住民の社会生活を「支える医療」に重心を置いた医療を提供します。</p>	<p>【法人】 府中地区医師会が実施した「在宅医療推進拠点整備事業」に参加し、地域住民の高齢化に対応した在宅医療推進のための一歩を踏み出しました。</p> <p>【府中】 訪問看護ステーションあゆみは、「在宅医療推進拠点整備事業」のサブセンターとして位置づけ、新たな事業に参加しました。</p> <p>【府中北】 地域医療連携室に経験豊富な職員を採用し、地域連携機能の充実を図りました。</p> <p>機能改革の一つとして、府中市が公募した介護事業に申請し、予定事業者の決定を得ました。H26.8月に、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業「ささえ」を開設します。</p>	4	4	<p>・医師会と連携して在宅医療を推進しているのが良い。</p> <p>・地域住民の高齢化を視野に、介護分野の充実についても考えるべきではないか。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(2) 予防医療

中期目標	市の保健事業とも連携し、人間ドックや健康診査をはじめとした総合的な予防医療の提供に努めること。																															
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																												
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																											
「支える医療」の一つとして、市の保健事業とも連携し、人間ドックや健康診査をはじめとした、病気を予防し健康の維持・増進を図るための予防医療の提供に努めます。	<p>・市の保健事業と連携し、人間ドックや健康診査を行います。</p> <p>市民の健診受診率の向上に対応するため、病院健診の受け入れ者数の拡大を図ります。</p> <p>・病気を予防し健康の維持・増進を図るための予防医療の提供に努めます。</p>	<p>【法人】市民病院として人間ドック・特定健診・がん検診を実施しました。また、市の保健課の要請により国保の特定健診・がん検診を追加で受けるなど、積極的に取り組みました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>健診種別</th> <th>前年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">府中市市民病院</td> <td>人間ドック</td> <td>207</td> <td>309</td> </tr> <tr> <td>協会健保等</td> <td>133</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>127</td> <td>156</td> </tr> <tr> <td>がん検診</td> <td>969</td> <td>964</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">府中北市民病</td> <td>人間ドック</td> <td>89</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>200</td> <td>201</td> </tr> <tr> <td>がん検診</td> <td>574</td> <td>505</td> </tr> </tbody> </table> <p>【府中】放射線科に女性の技師を採用し、マンモグラフィー検診を受検する女性への配慮を行いました。</p>		健診種別	前年度	25年度	府中市市民病院	人間ドック	207	309	協会健保等	133	500	特定健診	127	156	がん検診	969	964	府中北市民病	人間ドック	89	85	特定健診	200	201	がん検診	574	505	3	3	・協会健保等の検診受診者数が大幅に伸びている。予防事業の更なる拡大に向けて、積極的に取り組まれない。
	健診種別	前年度	25年度																													
府中市市民病院	人間ドック	207	309																													
	協会健保等	133	500																													
	特定健診	127	156																													
	がん検診	969	964																													
府中北市民病	人間ドック	89	85																													
	特定健診	200	201																													
	がん検診	574	505																													

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(3) 救急医療への対応

中期目標	地域の医療機関と連携・補完し合いながら、急性期患者への速やかな対応を行うこと。そのため、日常的に地元医師会や消防署と情報交換を行うなどして、救急時の即応体制を培うこと。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
地域の医療機関と連携・補完し合いながら、急性期患者への速やかな対応を行います。そのため、救急医療に要する経費に対する市からの政策的医療負担金を有効に活用し、病院の体制を整えます。	<p>・地域の医療機関と連携・補完し合いながら、急性期患者への速やかな対応を行います。</p> <p>・救急医療に要する経費に対する市からの政策的医療負担金を有効に活用し、病院の体制を整えます。</p>	<p>【法人】府中市民病院は二次救急輪番制病院として、府中北市民病院は救急告示病院として、府中地区の急性期患者の受け入れを行いました。</p> <p>府中地区医師会の休日当番医制では、府中市民病院は、診療所と協力し当番医の減少を補完、府中北市民病院は、年間を通じて上下地域の当番医を担当しました。</p> <p>外科の24時間365日の緊急手術に対応する職員体制を整えました。</p> <p>緊急手術は、今年度41件（前年度28件）行いました。また、法人2病院の連携による府中北市民病院からの紹介患者の外科手術は、今年度23件（昨年度17件）でした。</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・遠方の医療機関への搬送もやむを得ない場合もある。 ・両病院においては、それぞれの医療機能に応じ、緊急手術をはじめとした救急医療体制を整え、地域の医療機関とも連携している。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(4) 災害医療への協力

中期目標	災害発生時や感染症の流行時には、行政からの要請に基づき必要な医療を提供するとともに、防災訓練等にも協力すること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
災害発生時や感染症の流行時には、行政からの要請に基づき必要な医療を提供します。また、市が行う防災訓練等にも積極的に協力します。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時や感染症の流行時には、行政からの要請に基づき必要な医療を提供します。 ・市が行う防災訓練等に積極的に協力します。 	<p>今年度は、行政からの要請はありませんでした。</p> <p>新病院の設計にあたり、1階のセミナー室、ホワイエが災害時の受け入れ場所としました。</p> <p>【府中】今年度は、市から防災訓練等の要請はありませんでした。</p> <p>病院独自の取組として、今年度初めて府中市民病院ICLSコース研修会（患者救命率向上のための実技研修）を開催し、12名の看護師が参加しました。</p> <p>【府中北】市の要請により、上下花火大会の救護班として活動しました。</p>	3	3	・防災訓練への参加や災害医療訓練への参加等により、日頃から有事に備える必要がある。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置					
2 診療機能の確保					
(1) 診療科目の整備					
中期目標	それぞれの診療圏域において、地域の病院、診療所などと適切な役割分担を行い、地域にとって最も効果的な診療科目の整備に努めること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
府中市民病院及び府中北市民病院の診療圏域において、地域の病院、診療所などと適切な役割分担を行い、地域全体で、安定的で切れ目のない診療機能を確認し、地域にとって最も効果的な診療科目の整備に努めます。	<p>・府中市民病院及び府中北市民病院の診療圏域において、地域の病院、診療所などと適切な役割分担を図ります。</p> <p>近隣病院との連携会議を活発化し、同時に府中地区医師会と協議しながら、医療連携の具体的な方向性を検討します。</p> <p>・地域全体で、安定的で切れ目のない診療機能を確認し、地域にとって最も効果的な診療科目の整備に努めます。</p>	<p>【法人】今年度は、府中市民病院と寺岡記念病院の理事長・院長・副院長・事務長による会合を開催されませんでした。多田理事長が府中地区医師会の理事として、地域の医師との情報共有を図っており、今後も府中地域の医療提供体制について協議します。</p> <p>【府中】H26.4月から月2回（第2.4金曜日）、福山市民病院から循環器内科の診療支援を開始することが決定しました。</p> <p>【府中北】H26年度から北部地域移動診療車運行協議会に参加し、受診困難地域への移動診療を実施するため、関係者との協議を行いました。</p>	2	3	<p>・医師が不足している中で、府中市民・府中北市民両病院が役割分担しながら、近隣の医療機関とも連携して、地域に必要な医療機能・診療科目の維持に努力している。</p> <p>・可能であれば現状の診療科目の維持を。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 診療機能の確保

(2) 小児救急医療及び分娩の再開

中期目標	府中地域に欠けている医療機能として、行政とともにその再開に努力すること。																						
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																		
小児救急医療及び分娩の再開については、府中地域だけでなく広域的な連携体制が必要であり、その連携体制の中で2病院が果たすべき役割を検討します。	・広域的な連携体制の中で、2病院が果たすべき役割を検討します。	<p>【法人】 法人運営の2病院とも、地域に必要な産婦人科として、婦人科全般の診断と治療、子宮がん検診を行なっています。</p> <p>現状では、分娩の再開は条件整備のハードルが高く、広域的な連携体制の中で、妊娠32週までの妊婦検診に対応します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>府中市民病院</th> <th>前年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来患者数</td> <td>2,597</td> <td>2,371</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>431</td> <td>288</td> </tr> <tr> <th>府中北市民病院</th> <th>前年度</th> <th>25年度</th> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>603</td> <td>564</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>64</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>	府中市民病院	前年度	25年度	外来患者数	2,597	2,371	子宮がん検診	431	288	府中北市民病院	前年度	25年度	外来患者数	603	564	子宮がん検診	64	85	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・二次医療圏をはじめ、より広域的な連携体制において、両病院が果たすべき役割を早期にまとめる必要がある。 ・困難性は高いが、住民、特に子育て世代の安心の確保のためにも、引き続き努力していただきたい。
府中市民病院	前年度	25年度																					
外来患者数	2,597	2,371																					
子宮がん検診	431	288																					
府中北市民病院	前年度	25年度																					
外来患者数	603	564																					
子宮がん検診	64	85																					

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

3 地域医療連携の推進

(1) 地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行

<p>中期目標</p>	<p>地域の診療所や訪問看護ステーションと連携し、将来的な地域見守り体制の構築を視野に入れた活動を行うこと。 加えて、高齢者が住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活できるよう、高齢者と介護者を一緒に見守る公的サービスを提供しようとする「在宅支援システム」構想の実現にむけて、市とともに取り組むこと。</p>				
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>	
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>
<p>地域の診療所や訪問看護ステーションと連携し、将来的な地域見守り体制の構築を視野に入れ、高齢者が住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活できるよう、市の「在宅支援システム」構想の実現にむけて、病院の地域医療連携室が中心的な役割を果たします。</p> <p>在宅支援システムとは、平成19年度の「広島県地域ケア体制整備構想」において府中市が策定したモデルプランで、在宅医療の提供と、高齢者と介護者を一緒に見守る公的なサービスを提供するものです。</p>	<p>・地域の診療所や訪問看護ステーションと連携し、将来的な地域見守り体制の構築に取り組みます。</p> <p>府中地域保健・医療・福祉連携ネットワークの在宅医療情報共有システムにより、関係機関による情報共有をさらに推進します。</p> <p>・高齢者が住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活できるよう、市の「在宅支援システム」構想の実現にむけて、病院の地域医療連携室の充実を図ります。</p> <p>地域医療連携室は府中市と連携し、地域包括ケア体制の構築にむけて、医療と介護の連携を図ります。</p>	<p>【法人】府中地区医師会の「在宅医療推進拠点整備事業」に参加し、5つのサブセンターのうちの一つを、府中市民病院の訪問看護ステーションが担いました。</p> <p>【府中】【府中北】医療機関・施設の職員による地域ケア会議を月1回開催しています。</p> <p>【府中】新病院の設計に、医療（地域医療連携室、訪問看護ステーション）と介護（市の包括支援センター）の連携を推進するため、医療・介護・福祉・生活支援のいずれの相談にも対応できる総合的相談窓口を、住民が利用しやすい1階に設けました。</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>・府中市民病院改築後の総合相談窓口機能の充実に期待したい。</p> <p>・医師会の在宅医療拠点整備事業と協力して、地域包括ケアに取り組んでもらいたい。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

4 医師及び医療従事者の確保

(1) 臨床研修体制の充実

中期目標	府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築に努力すること。													
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価										
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント									
広島大学及び岡山大学の両医育機関の協力をいただきながら、府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築に努力します。	・広島大学及び岡山大学の両医育機関の協力をいただきながら、府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築に努力します。	<p>【府中】府中地域で病院を運営する府中市病院機構と社会医療法人陽正会が共同して、岡山医師研修支援機構が開催した「岡山マッチングプラザ2013」に「地域医療病院コンソーシアム府中」として出展しました。</p> <p>今年度は、寺岡記念病院に来た学生（岡大）の研修プログラムに、府中市市民病院が半日盛り込まれました。</p> <p>【府中北】府中北市民病院は、広島大学病院の協力型臨床研修病院として、研修医・学生の受け入れを行いました。</p> <table border="1" data-bbox="1086 1157 1489 1316"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>前年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修医</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>学生</td> <td>2人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>	実績	前年度	25年度	研修医	3人	2人	学生	2人	3人	2	2	・指導者の確保・育成は容易ではないが、努力されたい。
実績	前年度	25年度												
研修医	3人	2人												
学生	2人	3人												

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

4 医師及び医療従事者の確保

(2) 看護系大学などとの連携

中期目標	看護系大学など医療従事者を養成する教育機関との連携を図り、看護師及び医療技術者の確保に努めること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
看護系大学など医療従事者を養成する教育機関との連携を図り、看護師及び医療技術者の確保に努めます。	・看護系大学など医療従事者を養成する教育機関との連携を図り、看護師及び医療技術者の確保に努めます。	<p>【府中】府中地区医師会准看護学院の准看護師養成のための実習施設となっており、実習生の受け入れや学院への講師派遣をしています。</p> <p>また、訪問看護ステーションあゆみでは、福山平成大学、広島県立大学、広島県厚生連尾道看護専門学校、府中地区医師会准看護学院の実習生を受け入れています。</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実習生の受け入れに努められたい。 ・実習生が「自分もこの病院で働きたい。」と思うような病院になっていただきたい。 ・実習生にしっかりと病院の魅力を伝える努力が必要なのではないか。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上

<p>中期目標</p>	<p>患者の待ち時間の短縮等、利便性の向上に努めること。 また、患者や来院者に、より快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設改良に努めること。</p>				
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>	
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>
<p>地域住民に信頼される病院づくりを目指して、患者サービスの向上を図るため、患者の待ち時間の短縮等、利便性の向上に努めます。</p> <p>また、患者や来院者に、より快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設改良に努めます。</p>	<p>・待ち時間の短縮、利便性など患者サービスの向上に努めます。</p> <p>・快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設づくりに努めます。</p>	<p>【府中】新病院の設計に、健康で長生きするための栄養学的情報の発信を目的とした、だれでも利用できるレストランを設けました。</p> <p>【府中北】外来掲示板に、インフルエンザ予防など、その時期に合った情報提供を行いました。</p> <p>【府中】毎月、院長による各病棟回診、院内巡視を開始。総看護師長、事務長が同行し、患者要望や院内環境を把握しています。</p> <p>【府中北】各階にご意見箱を設置し、サービス向上委員会で内容を協議し、改善を図りました。</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>・市民病院として、患者の待ち時間短縮対策など、更なる利便性の向上に努められたい。</p> <p>・取り組みに当たっては、近隣の医療機関を含め、先進的な取り組みを参考にされたい。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(2) 医療安全対策の徹底

中期目標		院内感染防止策を確実に実施するとともに、医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策を徹底すること。			
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
院内感染防止策を確実に実施するとともに、医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策を徹底します。	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止策を確実に実施します。 ・医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策を徹底します。 	<p>【府中】【府中北】毎月、院内感染対策委員会を開催し、感染症情報を院内全体で共有、また定期的に研修会を開催しました。</p> <p>【府中】【府中北】毎月、医療安全対策委員会を開催し、院内全体でインシデント・アクシデント報告の内容と、その対応策及び再発防止策を確認しました。また、医療安全情報、医薬品情報、医療機器等の医療安全情報を共有、定期的に研修会を開催しました。</p>	3	3	・引き続き、院内感染の防止や医療安全対策の徹底に努める必要がある。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置					
5 地域住民とともに守る病院づくり					
(3) 市民への積極的な情報提供					
中期目標	病院運営に関して、地域住民の理解が得られるよう積極的な情報発信を行い、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
病院運営に関して、地域住民の理解が得られるよう病院のホームページや広報紙等により積極的な情報発信を行い、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めます。	<p>・病院運営に関して、地域住民に積極的な情報発信を行います。</p> <p>・病院のホームページや広報紙等により、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めます。</p> <p>広報誌の目標発刊数</p> <p>【法人】 2回</p>	<p>【法人】市の健康&福祉まつりに参加し、2病院の看護師による健康相談を実施しました。</p> <p>【府中】看護の日のイベントとして、病院内と市内のスーパー前で、健康相談を実施しました。また、病院の地元、鶉飼町内会の夏祭りへの出店や、敬老会へ参加、地域住民対象の講演会へ職員を講師として派遣しました。</p> <p>【府中北】上下ひなまつりに病院として出店し、血圧測定や健康相談、ゲームなどで地域との交流を図りました。</p> <p>【法人】市の広報に、それぞれ年4回、2病院の紹介記事を掲載しました。</p> <p>広報誌の発刊数</p> <p>【法人】 1回</p>	2	2	<p>・地域のイベントへの参加や市広報紙でのスタッフ紹介などは、住民にも親しみが感じられる。</p> <p>・更なる情報提供に努められたい。</p>

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 組織・機構の整備

<p>中期目標</p>	<p>府中・上下両地域の病院機能を守るため、限られた人材などを適切なバランスで配置し、効果的・効率的な組織体制を実現すること。また、すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、自主的に運営を行う組織風土を醸成し、もって業務の改善及び効率化を図ること。</p>				
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>	
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>
<p>病院事業の継続性、確実性を確保し、併せて病院自身の経営企画機能を強化するとともに、職員の業務遂行力の向上を図るため、限られた人材などを適切なバランスで配置し、効果的・効率的な組織体制を実現します。</p> <p>また、すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、自主的に運営を行う組織風土を醸成し、もって業務の改善及び効率化を図ります。</p>	<p>・病院事業の継続性、確実性を確保し、病院自身の経営企画機能を強化します。</p> <p>・職員の業務遂行力の向上を図るため、限られた人材を適切なバランスで配置し、効果的・効率的な組織体制づくりに着手します。</p> <p>・すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、自主的に運営を行う組織風土の醸成を図ります。</p>	<p>【法人】 理事会を毎月定例で開催し、収益の目標達成状況を報告しました。</p> <p>【府中】 院長、副院長（2名）、総看護師長、事務長による経営戦略会議を、毎週定例で開催しています。</p> <p>【法人】 府中市民病院は、厚生連の出身職員から法人職員への移行期であり、2病院間での職員異動は、一部の部署のみになりました。</p> <p>【府中】【府中北】 毎月の幹部会議で、経営状況の共有を図りました。</p> <p>【府中】 各部署の積極的な取組みを発表する「元気が出る KAIZEN 発表会」を開催しました。</p>	<p>3</p>	<p>2</p>	<p>・医療従事者が不足している中で、病院事業の継続性確保のためにも、効率的な組織運営を検討されたい。</p>

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 職員教育体制の充実

中期目標	全職員への教育、キャリアアップを支援し、その効果が各職員や組織内に定着し、生かされる仕組みを整備すること。																						
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																		
全職員への教育、キャリアアップを支援し、その効果が各職員や組織内に定着し、生かされる仕組みを整備します。	<p>・全職員への教育、キャリアアップを支援します。</p> <p>・教育効果が各職員や組織内に定着し、生かされる仕組みづくりに取り組みます。</p>	<p>【法人】全職員の学会、研修会、発表会等への参加を支援しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>府中市民病院</th> <th>府中北市民病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>23</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>106</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>83</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>28</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>合計（延人数）</td> <td>240</td> <td>91</td> </tr> </tbody> </table>	区分	府中市民病院	府中北市民病院	医師	23	10	看護師	106	38	医療技術	83	9	事務	28	34	合計（延人数）	240	91	3	3	<p>・地域住民の高齢化に対応するため、地域包括ケアに関する研修も必要ではないか。</p>
		区分	府中市民病院	府中北市民病院																			
医師	23	10																					
看護師	106	38																					
医療技術	83	9																					
事務	28	34																					
合計（延人数）	240	91																					
<p>【府中】看護部に、教育担当師長を専任で配置し、院内での研修・発表会を企画しています。</p> <p>広島県の「チームケア推進モデル事業」を実施し、市の多職種連携推進研修会で発表しました。</p>																							

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

3 事務職員の育成

中期目標	医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成すること。																									
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																						
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																					
医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成します。	・医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成します。	<p>【法人】事務職員については、法人採用の病院職員へ移行中ですが、現在、市からの派遣職員は、各業務の中心的な事務を担っているため、今後は特に計画的な採用・育成が必要になります。</p> <p>※事務職員の内訳（総務・人事・医事）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">職員区分</th> <th>H25.4</th> <th>H26.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市府中 市民病院</td> <td>法人</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>厚生連</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">市府中北 市民病院</td> <td>法人</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	職員区分		H25.4	H26.4	市府中 市民病院	法人	6	6	府中市	3	3	厚生連	0	0	市府中北 市民病院	法人	1	1	府中市	4	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・市からの派遣職員に代わる法人採用職員を、計画的に採用・育成されたい。 ・医事課職員を外部委託だけに頼ってはいは、業務改善点が把握しにくくなってしまう場合もある。 ・業務に精通した職員の育成に取り組まれたい。
職員区分		H25.4	H26.4																							
市府中 市民病院	法人	6	6																							
	府中市	3	3																							
	厚生連	0	0																							
市府中北 市民病院	法人	1	1																							
	府中市	4	3																							

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

4 働きやすい職場環境の整備

中期目標		職員が働きがいのある病院になるよう、個々人の努力が評価され、報われる人事給与制度の整備に努めること。			
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
職員が働きがいのある病院になるよう、個々人の努力が評価され、報われる人事給与制度の整備に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が働きがいのある病院になるよう、個々人の努力が評価され、報われる人事給与制度の整備に努めます。 ・働きやすい職場環境の整備として、府中市民病院に院内託児所を開設します。 	<p>【法人】 法人スタート時の人事給与制度に変更はありません。</p> <p>【府中】 本館2階の空きスペースを改修し、院内託児所の施設整備を行いました。運営については府中市と協議し、平成26年度中の開所を予定しています。</p>	2	2	・医療従事者が働きがいや魅力を感じられるような職場環境づくりについて、総合的に検討されたい。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 経営基盤の強化

<p>中期目標</p>	<p>不採算医療など政策的に必要な医療の経費については、市の財政支援を有効に活用し、経営基盤の安定を図ること。 また、利用の低調な施設、設備については、経費の軽減を図るため、新たな活用策を検討すること。</p>										
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>							
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>						
<p>不採算医療など政策的に必要な医療の経費については、市の財政支援を有効に活用し、経営基盤の安定を図ります。また、利用の低調な施設、設備については、経費の軽減を図るため、新たな活用策を検討します。</p> <p>経営基盤の強化を図ることで、地方独立行政法人として自立した経営基盤を確立し、中期目標期間の最終年度には、経常収支比率 100 パーセント以上の達成を目指します。</p>	<p>不採算医療など政策的に必要な医療の経費については、市の財政支援を有効に活用し、経営基盤の安定を図ります。また、利用の低調な施設、設備については、経費の軽減を図るため、新たな活用策を検討します。</p> <p>経営基盤の強化を図ることで、地方独立行政法人として自立した経営基盤を確立し、中期目標期間の最終年度には、経常収支比率 100 パーセント以上の達成を目指します。</p>	<p>【法人】法人の経営成績は、2 病院の合計で 106,838 千円の赤字決算となり、経常収支比率 97.1%でした。</p> <p>収益目標は達成しましたが、市からの繰入金 440,000 千円（当初：380,000 千円、追加：60,000 千円）は前年度比較で▲50,000 千円となっているもののそれ以上に経費がかさみ、黒字決算の目標は達成できませんでした。</p> <p>※経営成績（繰入金を除く）</p> <table border="1" data-bbox="1088 1106 1487 1254"> <tr> <td>府中市市民病院</td> <td>▲237,781 千円</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>▲309,000 千円</td> </tr> <tr> <td>法人全体</td> <td>▲546,781 千円</td> </tr> </table>	府中市市民病院	▲237,781 千円	府中北市民病院	▲309,000 千円	法人全体	▲546,781 千円	<p>3</p>	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医業収入については増加しているものの、経営は改善されていないは、給与費比率等の評価指標からも明らか。 ・ 経営状況が良い病院とどこが違うのか、しっかりと比較、分析をする必要がある。 ・ 経営状況の改善には、人件費を含めた費用の削減にも取り組む必要があるのではないか。 ・ 経営状況の改善には、医師や医療従事者の理解と協力が欠かせない。
府中市市民病院	▲237,781 千円										
府中北市民病院	▲309,000 千円										
法人全体	▲546,781 千円										

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

2 収益の確保及び費用の節減

中期目標	診療報酬制度の改定等に的確に対応するとともに、人材の弾力的な配置を図るなど、収益向上に有効な対策を講じること。また、柔軟な予算執行を行うとともに、日常業務の創意工夫に努めるなど、細やかなコストの節減を疎かにしないこと。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
診療報酬制度の改定等に的確に対応するとともに、人材の弾力的な配置を図るなど、収益向上に有効な対策を講じます。また、柔軟な予算執行を行うとともに、日常業務の創意工夫に努めるなど、細やかなコストの節減に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 診療報酬制度の改定等に的確に対応するとともに、収益向上に有効な対策を講じます。 柔軟な予算執行を行うとともに、日常業務の創意工夫に努めるなど、細やかなコストの節減に努めます。 	<p>【府中】医事課では、査定を減らす取り組み、外来未収を減らす取り組みを強化しました。今年度、病院内で開催された「元気が出る KAIZEN 発表会」で、この医事課の取り組みはベストカイゼン賞を受賞しました。</p> <p>【府中】総務課は、委託契約の見直しにより、年間約 300 万円のコスト節減を図りました。</p>	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 府中北市民病院に関する記載がなく、取組みが不十分なのではないか。 医師の協力を得ながら、取組みを進める必要がある。 稼働率や経営指標の動向について、十分に注視されたい。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

1 病院の建て替えへの対応

中期目標	府中総合病院については、建て替えの計画が存在している。この病院機能については、新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、関係者との協議や意見集約に協力すること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
<p>府中市民病院については、建て替えを行います。病院機能については、新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、関係者との協議や意見集約を行います。</p> <p>病院事業における投資については、地域における医療資源を的確に把握したうえで、重複投資を避けるなど、その投資効果を十分検討し、将来の法人経営の支障とならないよう留意します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に、府中市民病院の建築工事に着手します。 ・設計にあたっては、新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、引き続き関係者との協議や意見集約を行います。 ・病院事業における投資については、地域における医療資源を的確に把握したうえで、重複投資を避けるなど、その投資効果を十分検討し、将来の法人経営の支障とならないよう留意します。 	<p>【法人】市が発注した新病院の設計業務に、市と病院が共同して着手し、今年度は基本設計を完了し、H26年度から工事に着手します。</p> <p>【法人】新病院の機能として、地域包括ケアの推進体制について市と協議し、その具体案を設計に盛り込みました。</p> <p>【法人】新病院への医療機器等の投資については、現在の機器等の耐用年数等を考慮し、継続使用・更新・新規導入を検討しています。今後、投資経費を積算した上で、将来的な財政推計を行い、法人経営の支障とならないよう留意しました。また、地域における医療資源と重複投資にならないよう努めています。</p>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・支える医療の提供に向けて、改築工事の円滑な進捗に期待する。 ・改築に係る投資は精査し、病院改築に係る減価償却費が将来の法人運営の支障とならないよう留意すること。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

2 医療機器などの更新

中期目標	医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施すること。										
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価							
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント						
<p>医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施します。</p>	<p>・医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施します。</p> <p>・本年度の投資的経費は、128,000千円を上限目標額とします。</p>	<p>【法人】医療機器の更新や施設の改修については、各病院の医療機器整備委員会等で優先順位を検討し、法人理事会で購入機器を最終決定しました。</p> <p>決定にあたっては、法人の中期計画に基づき総合的な判断を行いました。</p> <p>本年度の投資的経費は、78,954千円で、目標限度額の範囲内としました。</p> <table border="1" data-bbox="1086 1010 1489 1158"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>投資額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府中市民病院</td> <td>20,290千円</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>58,664千円</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	投資額	府中市民病院	20,290千円	府中北市民病院	58,664千円	3	3	<p>・医療機器の更新については、従事者の意見を尊重しつつも総合的に判断する必要がある。</p>
内訳	投資額										
府中市民病院	20,290千円										
府中北市民病院	58,664千円										

第5 予算、収支計画及び資金計画（平成25年度）

※ 財務諸表及び決算報告書を参照

第6 短期借入金の限度額					
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
① 限度額 300 百万円 ② 想定される短期借入金の発生事由 ・賞与の支給等による一時的な資金不足への対応 ・予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	① 限度額 300 百万円 ② 想定される短期借入金の発生事由 ・賞与の支給等による一時的な資金不足への対応 ・予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	該当なし	3	—	—（短期借入金の借入実績はなく、コメントなし）

第7 剰余金の使途					
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てる。	・決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てます。	平成 25 年度決算では、剰余金は発生しませんでした。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・経営を安定させてから、医療機器の充実や従事者へのインセンティブ等も検討されてはどうか。 ・まずは剰余金が発生するように努力されたい。